

イメージ表現（一般選抜 前期 B）

試験時間	10時00分～13時00分
問題	与えられたテーマを自由に解釈して、画用紙にイメージをイラストとして表現し、描いたイラストのタイトルを記入しなさい。また、問題用紙に作品の説明（制作意図）を200文字以上で記述しなさい。
テーマ	「“フワフワ”という感覚が高校生活を豊かにする近未来を想像し、イラストで表現してください。」
試験内容に関する 注意事項	<ul style="list-style-type: none">・ 受験番号、氏名を解答用紙および画用紙裏面の所定欄に記入すること。・ 画用紙は縦、横どちらの向きに使用してもよい。・ 白紙は、下描き用として使用すること。
使用できるもの	カルトンまたはパネル 鉛筆・シャープペンシル 消し具 鉛筆を削るもの(電動式は不可) フィキサチーフ(定着液) クリップ・画びょう 羽ぼうき・布・ガーゼ・擦筆・ティッシュペーパー 彩色用具(水彩・油彩などの絵具は使用不可)

「この白紙は自由に使ってかまいません。得点には関係ありません。試験終了後、持ち帰ってください。」

イメージ表現参考作品（一般選抜 前期 B）



作品タイトル：「3 時間目：ふわふわバレーボール」

作品の説明（制作意図）：

この作品では、重力から解放されて空中を浮遊しながら戦うバレーボールを表現しました。きっかけは、体育の授業中に「もっと高く飛べたら、この競技はもっと面白くなるはずだ」と感じた私自身の体験です。

夢中でボールを追う少女たちと、表情豊かな運動型ロボット「ピポくん」は、ついに体育館を飛び出し、雲の上まで到達してしまいました。コートという枠組みに縛られず、純粋にスポーツを楽しむ姿は理想的ですが、あまりに高く飛びすぎて「4 時間目の授業に間に合わない」というコミカルな状況も暗示しています。自由な発想と、日常の延長線上にあるユーモアを一枚の絵に込めました。

出題の意図・狙い：

イメージ表現では文章でテーマを与え、読解力、想像力、構成力、描画力、表現力など、イラストレーションの基本的な能力を評価の対象としています。

テーマを的確に読み取り、その特性や意味を理解できているか（読解力）、そこから発想を展開し独自のイメージを構築できているか（想像力）を重視します。

加えて、発想した内容を画面構成として整理し、効果的なレイアウトが行われているか（構成力）、対象を適切に描写する基礎的な描画力を有しているか（描画力）、および作品全体を通して意図や魅力を視覚的に伝える表現力が備わっているかを総合的に評価します。